

キーウ市・ウクライナ避難者支援について

1 キーウ市への支援に係る取組について

(1) 寄付金の受付

キーウ市の文化・生活の復興支援に役立てていただくための寄付金を、市内各施設等に設置した寄付金箱や口座振込で受け付けている。

【期間】令和4年3月2日から9月30日まで（予定）

【寄付金額】約6,750万円（令和4年7月7日時点）

※このうち、第1回目として、5月13日に、約6,080万円（※）を、Future Kyiv Foundation（キーウ市指定の寄付金送金先機関）へ送金済。

(2) 献花台の設置

ロシアによる軍事侵攻により犠牲になられた方への哀悼、負傷された方へのお見舞い及びキーウ、ウクライナの一刻も早い平和の回復などを祈念する目的で、市役所前広場の友好の小路内に献花台を設置。

【期間】令和4年3月2日から9月30日まで（予定）

【献花本数】約600本（令和4年7月8日現在）

(3) キーウ市長との会談

令和4年4月6日、門川市長とキーウ市のクリチコ市長との間で、オンラインによる会談を実施。

【発言内容概要】

（クリチコ市長）キーウ市近郊はじめ多くの都市においてロシア軍による虐殺、都市の破壊が行われている惨状の説明、日本そして京都市民からの支援に対する謝意の表明、長引く戦況に備えた食料品や医療物資の支援や破壊された街の復興支援の要請、平和に向けた団結と積極的な行動の呼掛け

（門川市長）ロシアによる軍事侵攻に対する抗議と即時撤退に向けた国内外への働きかけの表明、キーウ市民に向けた京都市民の行動（寄付金、献花等）と避難者受入支援の報告、今後の国や他都市等と連携した継続的な支援の約束

(4) 世界歴史都市連盟会長メッセージの発信

ウクライナにおける武力紛争により、連盟加盟の歴史都市等が極めて厳しい状況にあることを受け、会長都市を務める京都市として、平和の重要性、平和の回復に向けた行動、被害に見舞われた歴史都市に支援の手を差し伸べることを呼び掛けるメッセージを発出。

（参考）連盟加盟都市数：125都市（2022年5月現在）

（うち、ウクライナの加盟都市（5都市）
チェルニフツィ、キーウ、ルーツィク、リヴィウ、オデッサ）

2 ウクライナからの避難者への支援に係る取組について

(1) 「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク」の立上げ

企業や団体、市民等と連携してウクライナからの避難者の支援を進めるため、「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク」を令和4年3月18日に立ち上げ、本市、(公財)京都市国際交流協会、京都キーウ交流の会が事務局として取組を推進している。

(2) 避難者受入状況(令和4年7月8日現在)

30件、35名【2家族(7名)、大学16名、日本語学校5名、その他7名】

(3) 支援の取組

ア ワンストップ窓口の設置(京都市国際交流会館内)

住宅、就学・就労等の日本での生活に関する相談に幅広く対応。

イ 一時滞在先、住宅の紹介

住宅に入居するまでのホテル等の一時滞在施設(無償)、市営住宅及び民間提供の住居(原則無償)を紹介。

ウ 寄付金の受付及び生活支度金の提供

避難者の受入支援に活用する寄付金を受付。

寄付総額 約3,299万円(令和4年7月8日現在)

本市での居住が決定した場合、同寄付金を活用し、一世帯30万円(同居者1名につき10万円加算)の支度金を支給。

エ その他サービスの提供

民間企業等から提供のあったサービス(空港からの無料送迎、健康診断等)を提供。

オ 就労支援

避難者の就労支援を行うハローワークへの取次ぎ。

カ 日本語学習支援

ボランティアによる日本語教室の実施、日本語学習支援情報等の提供、日本語教育機関(無償)とのマッチング。

キ 通訳翻訳ボランティアの募集

避難者のコミュニケーション支援等の目的のため、ウクライナ語・ロシア語・ポーランド語の通訳翻訳ボランティアを募集。